

個人番号カードが 受け取れます

個人番号(マイナンバー)の通知が始まりました。通知カードと同封した申請書は、個人番号カードの交付申請を行う際に必要です。

市民課住民記録係 ☎ 6079

個人番号カードとは
プラスチック製のカードで、マイナンバーの確認や公的な身分証明書として利用できます。

個人番号カードが必要になるサービス
インターネットを利用した確定申告(e-Tax)やコンビニ交付サービス、自動交付機で住民票・印鑑登録証明書を取得する際に必要になる予定です。



氏名、住所、生年月日、性別、顔写真が記載されます



12桁のマイナンバーが記載されます

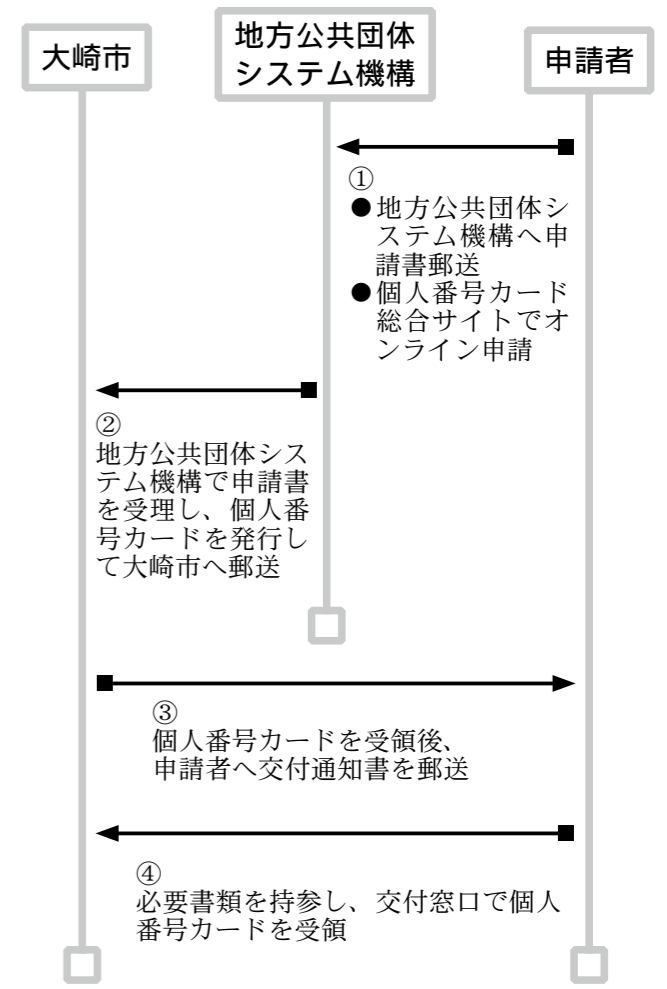
住民基本台帳カード(住基カード) 発行の終了
住基カードの発行は12月26日で終了します。住基カードに記載してある期限まで、コンビニ交付サービスや自動交付機で利用できません。

また、住基カードの発行が終了することに伴い、e-Taxなどで使用していた電子証明書の発行を平成27年12月22日で終了します。電子証明書は、有効期限までe-Taxなどに

利用できません。

申請から交付までの流れ

個人番号カードは、申請から発行まで、早くても1カ月程度の期間が必要となります。



個人番号カードの申請方法

申請には、申請書と、申請者本人の写真が必要です。

■郵送での申し込み
申請書に必要な事項を記入し、同封した返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函してください。

■スマートフォン・パソコンなどを利用した申し込み
インターネットを利用して、個人番号カード総合サイトから申し込みができます。申請には、申請書に記載して

個人番号カードの受領方法

市から交付通知書が届いたら、交付窓口に必要な書類を持参してください。

交付開始 平成28年1月4日から

交付窓口 市役所本庁舎北側会議室1階南側または各総合支所市民福祉課市民窓口担当

必要なもの

- 1 通知カード
- 2 本人確認書類(運転免許証など)
- 3 交付通知書
- 4 住民基本台帳カード(所有者のみ)
- 5 代理人による受領
やむを得ない事情で本人が窓口に来ることができない場合は代理受領も可能です。詳しくは市民課住民記録係にお問い合わせください。
- 6 本人が窓口受領できない事情を証明する書類
- 7 委任状
- 8 代理人の本人確認書類(運転免許証など)

大崎地域を世界農業遺産へ

vol.5 里地・里山の保全と大崎耕土の恵み③

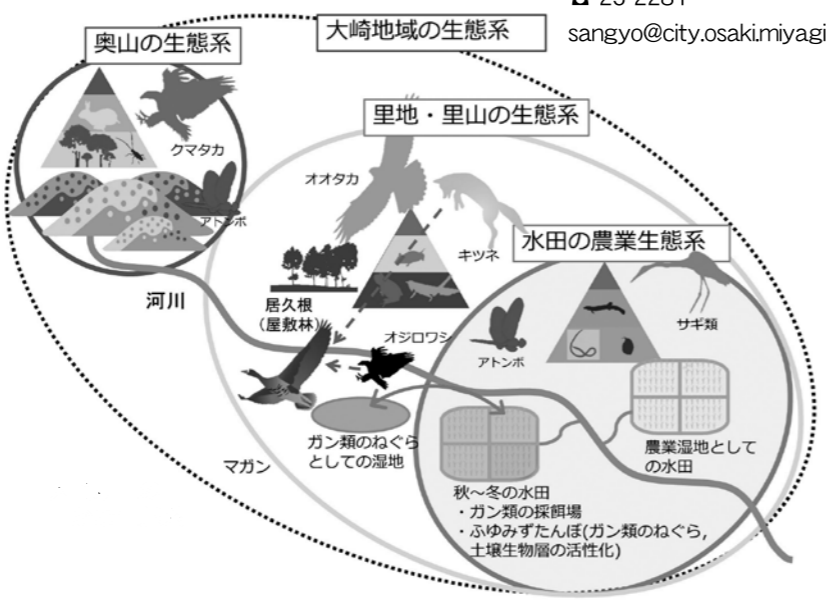
大崎地域の豊かな自然環境と生きものについて紹介します。

わたしたち日本人にとって身近な里地里山には、約5,600種類もの生きものが生息しているといわれており、農業がわたしたちの食料を生産するだけでなく、多くの生きものたちの命を支えていることを示しています。

大崎地域は、地域全体の田んぼの面積が、全国自治体平均の3.5倍にあたる約14%を占めており、メダカやドジョウ、ノウサギ、マガンなどが暮らす田んぼや水路、ため池、居久根(屋敷林)などの、人の手で管理されることで保たれている二次的自然環境が多く残されています。

奥羽山脈の山々から湧き出る清らかな「水」が、巧みな管理によって里地里山につなげられてきたことで、生きものたちの命とわたしたちの暮らしを支える、豊かな「大崎耕土」を育んでいるのです。

大崎耕土に暮らすわたしたちが再認識し、次世代を担う子どもたちに伝え、残していきたい、大崎地域の大切な宝です。



生きものを育む田んぼ



【問い合わせ先】産業政策課
世界農業遺産推進室
☎ 23-2281
sangyo@city.osaki.miyagi.jp

市長コラム 天・地・人

待望の花洲山バイパス開通

27年の長きにわたる地元の切実なる悲願、待望の国道108号花洲山バイパスが、いよいよ11月15日に開通します。

国道108号は石巻市と秋田県由利本荘市を結ぶ全長189キロメートルの県管理の国道、東西交通の主要軸です。鳴子ダム東側を通る現道は狭隘で、急カーブや急勾配など危険箇所が多く、スクールバスの横転事故が起きるなど、交通事故が頻繁に発生している区間であり、特に冬期間は難所中の難所でありました。

このことから、昭和63年度から宮城県がタムの西側を通る代替道路として事業に着手しましたが、平成15年の三陸南地震でトンネル内に地滑りの兆候が見つかり、工事を中断休止しておりました。そこに平成19年2月、現道で土砂崩れが発生し、鬼首地区が2日間孤立状態

となり、1カ月半の間、通行止めとなりました。地域の方々からは、危険な状況を放置していたことへの「山の神の怒りだ」と、悲痛な叫びが寄せられました。

事ここに至っては国の力を借りようと、県知事と合議を行い、地元の方々と国土交通省に懇請をいたしました。国の格別の英断で平成20年度から国の事業として工事が再開し、スピード感のある工事で10本の橋と5本のトンネルをつなぐ6・4キロメートルのバイパスが完成しました。私も思いを込めてトンネルの銘板に揮毫しました。ただただ、感動、感激、感謝です！

花洲山バイパス開通を契機に、この道を安全・安心な道をつなぐ道、交流促進の道、地方創生への道、未来をひらく道として新たな使命、可能性にチャレンジしてまいります。

大崎市長 伊藤 康志